

## 第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

### 1 快適な都市空間の形成

#### ●都市の骨格となる道路整備

- 慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。令和6年度は、大分市の東西骨格軸である（都）庄の原佐野線（下郡工区）において、全ての橋梁工事の発注が完了し、事業の進捗を図りました。また、別府市の（都）富士見通南立石線が全線開通しました。



令和7年3月  
（都）庄の原佐野線（下郡工区）工事状況



（都）富士見通南立石線



国道197号（鶴崎拡幅）

#### ●道路空間の再生

- 道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。令和6年度は、国道500号夕見工区の無電柱化が完了し、安全な歩行空間を確保しました。

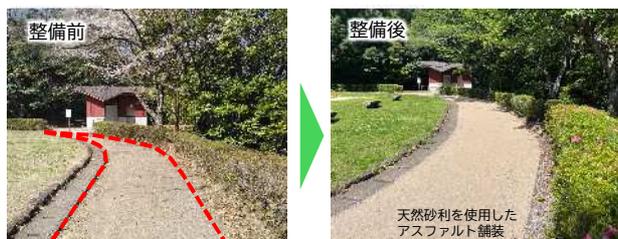


国道500号（夕見工区）無電柱化

#### ●都市公園の整備

- 長寿命化計画に基づき、施設の老朽化対策に合わせて、誰もが快適に利用できる施設への改修を推進しています。

令和6年度は、高尾山自然公園の園路整備や大洲総合運動公園の便所改修を行いました。



高尾山自然公園 園路整備

#### 【目標指標の達成度】

目標指標	基準値		R6年度		
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度
対策を講じる主要渋滞箇所数	H26	-	30箇所	30箇所	100%
一人当たりの都市公園面積	H26	13.1m <sup>2</sup> /人	13.6m <sup>2</sup> /人	14.0m <sup>2</sup> /人	102.9%
都市内の街路整備延長	H26	502km	510km	509km	99.8%

#### 【指標による評価】

評価	理由等
達成	国道197号（鶴崎拡幅）等の整備を計画的に進め、目標を達成した
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園面積について、計画的な整備により目標を達成した
概ね達成	富士見通南立石線の整備を計画的に進め、目標を概ね達成した

## プラン(2016年～2024年)の成果と今後の施策展開

### <プランの成果>

- （都）庄の原佐野線（元町・下郡工区）など渋滞を緩和する道路網、「リボン197」による開放的な道路空間、国道442号（宗方拡幅）など歩道・自転車道の整備による快適で安全な通行空間など、快適な都市空間を形成する道路整備を着実に進めました。
- スポーツ振興および広域防災の拠点として活用される武道スポーツセンターを整備しました。

### <今後の施策展開>

- 引き続き、都市の骨格となる道路の渋滞対策を進めるとともに、歩道・自転車道の整備や無電柱化など多様なニーズに対応した道路空間等の形成を進めます。
- 民間の資金やノウハウも活用するなど、様々な世代が快適にくつろぎ、交流ができる、にぎわいのある公園づくりを進めます。

## 第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

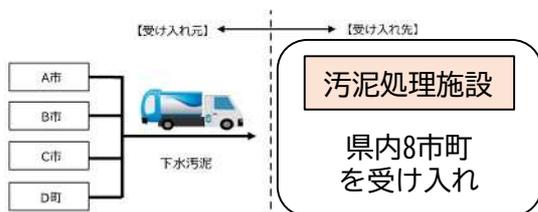
### 2 潤いのある水環境の創出

#### ●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想2015」に基づき、市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・令和6年度は、下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する17市町に対して支援を行いました。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しており、生活排水処理率（汚水処理人口普及率）の向上に努めています。
- ・広域化・共同化計画に基づき、大分市内および県内8自治体から運搬集約した下水污泥から、固形燃料を製造する大分市下水污泥燃料化施設が令和6年10月に供用開始しました。



大分市下水污泥燃料化施設



#### 【目標指標の達成度】

目 標 指 標	基準値		R6年度		
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度
生活排水処理率（汚水処理人口普及率）	H26	72.3%	88.2%	84.0%	95.2%

#### 【指標による評価】

評 価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面での支援など行い、目標を概ね達成した

## プラン(2016年～2024年)の成果と今後の施策展開

### <プランの成果>

- ・公共用水域の水質保全への意識を高めるため、小学生や地域住民への啓発活動を積極的に実施するとともに、下水道施設等の整備や合併浄化槽への転換を支援し、生活排水処理率の向上を図りました。
- ・市町村の持続可能な事業運営を目的として、大分県生活排水処理事業広域化・共同化計画を策定し、計画的な改築や処理場の統合など効率的な維持管理への技術支援を実施しました。

### <今後の施策展開>

- ・地域の特性に応じた生活排水処理手法への見直しを促すとともに、処理施設の整備を進める市町村を引き続き支援します。
- ・多自然かわづくりや地域住民・関係機関と連携した啓発活動等により、生物多様性に配慮した水環境づくりを進めるとともに、カーボンニュートラル実現に向けた取組や建設リサイクルの取組も進め、持続可能な環境づくりを推進します。

#### ●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。



親水空間の創出

R6. 7.21田ノ浦ビーチマリンスクール '24

#### ●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、啓発活動を実施しています。



小学校への出張教室(宇佐市)



イベント啓発活動(玖珠町)

#### R6活動実績

小学校への出張教室	23校	12市町
イベント啓発活動	8回	8市町

## 第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

### 3 快適な住まいづくりの推進

#### ●住宅セーフティネットの推進

- ・低額所得者、高齢者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者の住まいの確保や暮らしを支援する居住支援協議会が、新たに大分市に設立されました。また、居住支援への取組を広く周知するため、居住支援九州サミットやエリア別セミナーを開催しました。



居住支援九州サミット



エリア別居住支援セミナー

#### ●子育て・高齢者世帯へのリフォーム支援

- ・子育てしやすい住まいづくりを推進するため、令6年度から多子世帯への補助額を加算するなど、子育て世帯や三世帯同居世帯が行う住宅リフォームの支援を拡充しました。また、高齢者が安心して暮らせるよう、バリアフリー改修への支援も行いました。



見守りやすい対面キッチンへのリフォーム

#### ●県営住宅の改善

- ・劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。寒田南住宅などバリアフリー化されていない県営住宅の1、2階部分の住戸において、浴室に手すりや給湯設備等を設置するなど、高齢者の利用に配慮した改善工事を行い、バリアフリー化を進めています。また、こどもの見守りがしやすい間取りへの変更など、子育て世帯向けの改善工事も進めています。

##### ■高齢者の利用に配慮した改善工事

- ・浴室の床をかさ上げして段差による負担を軽減
- ・手すり、給湯器、シャワー、非常呼び出しボタンを設置

手すり、  
非常呼び出しボタン



シャワー

##### ■子育て世帯向けの改善工事

- ・こどもの見守りがしやすい間取りへの変更
- ・子ども部屋への改修
- ・給湯器等の改修



#### 【目標指標の達成度】

目標指標	基準値		R6年度		
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2%	35.0%	37.3%	106.6%

#### 【指標による評価】

評価	理由等
達成	住戸内のバリアフリー化を計画的に進め、目標を達成した

## プラン(2016年~2024年)の成果と今後の施策展開

### <プランの成果>

- ・居住支援協議会の設立を推進するなど、住宅セーフティネットの充実を図りました。また、高齢者世帯や子育て世帯が暮らす住宅のリフォームを支援しました。
- ・「大分県公営住宅マスタープラン2020」を策定し、計画的に長寿命化を図りながら、間取りの変更やバリアフリー化など多様化するニーズへの対応を進めました。

### <今後の施策展開>

- ・全市町村での居住支援協議会設立に向けた情報提供や支援を実施するとともに、引き続き、高齢者世帯や子育て世帯のリフォーム支援を行います。
- ・老朽化した明野住宅の集約建替を着実に進めるとともに、公営住宅の計画的な維持管理による長寿命化、バリアフリー化や子育て世帯向けの住戸整備などを進め、大分県公営住宅マスタープランの更なる推進を図ります。

## 第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

### 4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

#### ●主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。

令和6年度は、稲積水中鍾乳洞のアクセス道路である三重野津原線（中原工区）が全線開通し、観光振興に寄与しました。



三重野津原線 中原工区（豊後大野市）

#### ●良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県のもつ魅力ある景観を次世代に引き継いでいくために、県民一人ひとりが身近な景観に関心を持ち、守り育てていくきっかけとなるように、大分県景観ハンドブックを作成しました。



大分県景観ハンドブック

#### ●おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、区画線の更新を実施し、来県者が目的地まで安全で快適に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

ツール・ド・九州等のイベント支援として、大会コース内の路面清掃や除草を実施し、大会を安全に運営するための道路環境の創出・維持に取り組んでいます。



別府一の宮線（九重町）における区画線の更新



天瀬阿蘇線（日田市）における路面清掃・除草

#### ●観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。

スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線（九重町大字田野 延長約5km区間）において、路肩拡幅等による道路環境整備（トレーニングコース整備）を引き続き実施しています。

- ・関係機関と連携し、クルーズ船誘致や円滑かつ安全に受け入れるための環境整備に取り組んでいます。



別府一の宮線（長者原工区）



別府港に初寄港した「MITSUI OCEAN FUJI」（R6.12）

## プラン(2016年～2024年)の成果と今後の施策展開

### <プランの成果>

- ・県内主要観光地へのアクセス道路や周遊ルートの整備、外国人にもわかりやすい道路情報板の整備や道の駅のトイレ洋式化などの「おもてなしの環境整備」を行いました。
- ・景観ハンドブック作成など、県民の景観への関心を高める取組を進めました。
- ・インバウンドの増加を受けて、県内へのクルーズ船の寄港が増加する中、受け入れ環境の整備を積極的に推進しました。

### <今後の施策展開>

- ・持続可能な観光地域づくりを支えるため、引き続き、主要観光地へのアクセス道路や周遊道路の整備をはじめとした安全で快適な道路環境づくりを進めます。
- ・良好な景観の保全・形成、クルーズ船の更なる誘致に向けた環境整備などに取り組めます。
- ・多様化する観光ニーズに対応するため、インフラの観光資源としての活用を検討します。